



# 校長室だより

8月号③

12日間の短い夏休みが終わりました。徳島県でも39℃を超えるような猛暑，そしてコロナウィルス感染症の拡大と，いろいろなことに配慮をしながら過ごした夏休みだったのではないのでしょうか。お盆の間に阿波踊りのニュースを見聞きしなかったことで，本当に今年の夏は特別だなあと感じました。

さて，例年より1週間早く2学期が始まりました。2学期始業式では，子どもたちの元気な顔を見られてよかったです。そして，2学期から新しくなかまも増えました。2年生に堀 愛菜（ほり あいり）さんが転入して，全校児童100名となりました。2学期も子どもの健康・安全に気をつけながら，子どもたちの学校生活が楽しくいきいきとしたものであるように支援していきたいと思います。保護者のみなさまのご理解・ご協力よろしくお願ひいたします。

## あたりまえへの感謝

このことについては，今まで何度か子どもたちに話をしてきましたが，8/7の1学期終業式でもふれました。と言うのも，8/6に広島で実施された平和記念（祈念）式典での「平和への誓い」で，あたりまえの日常に関する内容が発表されたからです。「平和への誓い」は，毎年，広島市内の小学6年生が子どもを代表して，自分たちの平和への思いや願いを全世界に発表します。その内容がすばらしく，大人も子どもも，平和や戦争，原爆，自分の生活について考えさせられます。



※ 「平和への誓い」の内容については，裏面をごらんください。

## 楽しかった 6年 サマーキャンプ 保護者のみなさん，ありがとうございました



今年も，8月8日（土）に，恒例の6年サマーキャンプが実施されました。6年生保護者のみなさんが，小学校最終学年に，楽しい思い出をつくってほしいと工夫をこらして計画・準備しています。今年は，コロナ禍のなかいろいろと大変だったと思います。子どもたちにとって忘れられない思い出となりました。ありがとうございました。



(裏面)

2020年 広島平和記念(祈念)式典 「平和への誓い」

「75年は草木も生えぬ」と言われた広島町。  
75年がたった今、広島町は、人々の活気に満ちあふれ、緑豊かな町になりました。  
この町で、家族で笑い合い、友達と学校に行き、公園で遊ぶ。  
気持ちよく明日を迎え、さまざまな人と会う。  
当たり前前の日常が広島町には広がっています。  
しかし、今年の春は違いました。  
当たり前だと思っていた日常は、決して当たり前ではないことに気づかされました。  
そして今、私たちはそれがどれだけ幸せかを感じています。  
75年前、一緒に笑い大切な人と過ごす日常が、奪われました。  
昭和20年(1945年)8月6日午前8時15分。  
目がくらむまぶしい光。耳にこびりつく大きな音。  
人間が人間の姿を失い、無残に焼け死んでいく。  
町を包む魚が腐ったような何とも言いがたい悪臭。  
血に染まった無残な光景の広島を、原子爆弾はつくったのです。  
「あのようなことは二度と起きてはならない」  
広島町を復興させた被爆者の力強い言葉は、私たちの心にずっと生き続けます。  
人間の手によって作られた核兵器をなくすのに必要なのは、私たち人間の意思です。  
私たちの未来に、核兵器は必要ありません。  
私たちは、互いに認め合う優しい心を持ち続けます。  
私たちは、相手の思いに寄り添い、笑顔で暮らせる平和な未来を築きます。  
被災地広島で育つ私たちは、当時の人々があきらめずつないでくださった希望を未来へとつないでいきます。

令和2年(2020年)8月6日

子ども代表

広島市立安北小学校 6年 長倉 菜摘  
広島市立矢野南小学校 6年 大森 駿佑

～ 参考資料：2020.8.7付 徳島新聞記事 ～

**8/23(日) 愛校奉仕作業  
よろしくお願ひします**

子どもたちの  
よりよい教育環境のために  
ご協力を

- 8:30までに体育館にお集まりください。(学年ごとに、作業内容をお伝えします。)
- 作業時間は、8:40～10:30(前半は、子どもと一緒に作業をします。)
- 作業後の飲み物は準備しますが、熱中症対策として各自飲み物をご用意ください。
- 駐車場は、運動場とします。近隣の店舗や道路には駐車しないようお願いいたします。
- 詳細については、先日お渡しした文書をご覧ください。